

2025年（令和7年） 読書の秋！公民館の図書室もご利用ください。

壬生川地区人口 8月末現在

壬生川公民館だより 10月

(前月比)
男 性 2,184人 (－3)
女 性 2,332人 (±0)
(合 計) 4,516人 (－3)
世帯数 2,235戸 (+1)

〒799-1341 西条市壬生川 200 番地
TEL・FAX 0898-64-2202
E-mail nyugawa-k@saijo-city.jp

カラー版は市のホームページ
に掲載しています。こちらから →



8月23日（土）、壬生川小学校体育館で、今年も「ふる里づくり盆踊り大会」を開催しました。踊りに先駆けて行われた「子ども広場」も大盛り上がり！熱い夜になりました。



▲大人気のお菓子釣り



▲大好きなパンが引けますように



▲空き缶積み お上手♪



▲くじ引きも大行列



▲「お楽しみ抽選くじ」特賞当選！
おめでとうございます！

壬生川小学校
PTA、JA 周桑壬
生川女性部の皆さ
んのバザーコーナ
ーも大盛況！



小学校をはじめ、地域の皆さまには、うだるような暑さの中、準備、運営、片付けまで、大変お世話になりました。皆さま方のお力で、夏の一大イベントを大成功で終えることができましたこと、心より感謝いたします。

【10月のごみ収集日】 きちんと分別し、当日の 朝8時まで 決められた場所へ

- ◆古 紙 （新聞紙・ダンボール・雑誌・雑がみ）・・・1日（第1水曜日）
- ◆ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶・カセット式ガスボンベ・・・8日（第2水曜日）

10月の主な行事予定

日	曜	行 事
3	金	壬生川地区人権・同和教育講演会 『共に生きる～障害があっても、 地域で当たり前の生活を！～』 (壬生川小学校体育館) 10:20～
4	土	休館日 放課後子ども教室[運動](壬生川小学校体育館)
5	日	休館日
11	土	休館日
12	日	休館日
13	月	休館日 スポーツの日
15	水	壬生川カフェ(高齢者カフェ) 10:30～
18	土	休館日・放課後子ども教室[押花]
19	日	休館日
24	金	第4回さわやか人生大学 『交通安全教室』 13:30～
25	土	休館日 放課後子ども教室[AGOであそぼ]
26	日	休館日 敬老の家事業(壬生川小学校体育館) 11:00～
27	月	臨時休館
31	金	壬生川地区人権・同和教育懇談会 『人権標語発表』 14:00～

公民館からお知らせとお願い

10月27日(月)は、臨時休館とさせていただきます。
ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。よろしくお願いいたします。

11月9日(日)、今年度も『壬生川公民館文化祭』を、
開催いたします。詳細は、公民館だより11月号に掲載いた
します。ぜひご来場ください。

『高齢運転者交通安全教室』を開催します！

自動車を運転される高齢者の方を対象に、体験型の
交通安全教室を開催します。ドライブレコーダーによるご
自身の運転の再確認や踏み間違い加速抑制システムなど
を体験することができます。ぜひ、ご参加ください。

- 日 程 11月17日(月)
- 時 間 午前の部 9時～12時
午後の部 13時30分～16時30分
※申込時にどちらか希望をお伝えください。
- 場 所 西条ドライビングスクール
(西条市石田 284 番地)
- 対 象 市内在住のおおむね 65 歳以上の方で、
自動車運転免許をお持ちの方
- 定 員 午前・午後でそれぞれ 21 人(先着順)
- 応募締切 11月4日(火)
- その他 当日は、運転免許証と
眼鏡等運転に必要なものをお持ちください。
- 申込先 西条市役所 危機管理課くらし安全係
TEL0897-52-1284(直通)

講座・教室等のご案内

壬生川地区人権・同和教育講演会

頸椎損傷により、車椅子生活を余儀なくされるよう
になった宇高竜二氏、
『障がいのある人がない人と同じように暮らせるよ
うにしたい』『障がいを理由に「できない」というこ
とをなくしたい』という思いを抱き、社会にある「い
きづらさ」をなくすため、日々活動されています。
宇高氏の実体験を交えた講演会を開催いたします。

日 時：10月3日(金) 10時20分～11時05分
※公民館だより9月号のご案内と時間に変更に
なっております。

場 所：壬生川小学校 体育館
講 師：宇高 竜二氏 (CIL 星空とうよ 代表)
演 題：「共に生きる
～障害があっても、地域で当たり前の生活を！～」
お申込み：壬生川公民館 ☎64-2202

高齢者の方が、地域の方と気軽にふれあえる場所
「壬生川カフェ」にお越しください！

- 日 時：10月15日(水) 10時30分～
- 場 所：壬生川公民館 1階 学習室 3 他
- 持参物：水分補給用の飲み物
- 内 容：脳トレ・レクリエーション等
- 問合せ：西条市地域包括支援センター東予
TEL 66-5520

第4回さわやか人生大学 「学んで安心！交通安全教室」

『道路交通法』の一部が改正され、令和8年
4月から、施行されます。

交通事故を起こさない、遭わないため、今一
度、正しい交通ルール・マナーを学びませんか。
大切な命を守るため、ぜひご参加ください。

- ▶日 時：10月24日(金) 13時30分～
- ▶場 所：壬生川公民館 2階大ホール
- ▶講 師：井上 裕司氏
(西条西警察署 交通課)
- ▶お申込み：壬生川公民館 ☎64-2202

壬生川地区人権・同和教育懇談会

壬生川小学校の児童が、一人ひとり心のこもった
「人権標語」を、発表します。
子どもたちの思いを聞き、「人権」について、一緒
に考えてみませんか。

日 時：10月31日(金) 14時00分～
場 所：壬生川公民館 2F 大ホール
内 容：壬生川小学校3年生児童による
人権標語の発表
お申込み：壬生川公民館 ☎64-2202

「壬生川地区人権・同和教育懇談会」



8月28日(木)、壬生川小学校で、6年生担任の田中晶子氏に、「道徳科の授業」を行っていただきました。6年生も実際に学んだ「思いやり」について、電子黒板を使つての授業、参加された方々は、相手の立場を想像し行動する「思いやりの気持ち」を再認識され、参加して良かったとの声を、全ての方からいただきました。

参加者の年齢層	
20歳代	4名
30歳代	5名
40歳代	2名
50歳代	4名
60歳代	8名
70歳代	7名
80歳代	6名

【参加者の皆さんの主な感想】

○人権意識の高まりにより、身の回りには様々な問題があると思う。しかし、解決に向け、考え行動していかなければ本当の解決にはつながらない。行動に移せるように学び続けていくことが、大切だと思った。
○思いやりとは相手の立場、相手の身になって、その人がつらいだろうな、悲しいだろうな苦しいだろうな、あるいはうれしいだろうなといった思いや状況を察し、自分にできること(言葉かけ、手助け、微笑む、黙って寄り添う)をすることだと思う。
○思いや思いやりは見えにくい部分も多いと思う。見えにくいからこそ、意識して家庭でも学校でも地域でも子どもを育てていかねばと思う。
○分かりやすい授業だった。自分に余裕をもって生活したい。また、ありがとうの大切さを再認識した。自分自身を反省していきたい。
○人の心を思い量る人になりたいし、そういう人や子どもを育てたいと思った。とてもよい授業で勉強になった。
○シャイは必ずしも美德ではない。声に出して言わなければ、心は伝わりにくい。
○地域ぐるみの関わりやつながりが大切だと思った。

「夏休みお楽しみ教室」

8月18日(月)、「第2回夏休みお楽しみ教室」を開催しました。



「なぞなぞ大会」誰が早く解けるかな？

「壬生川放課後子ども教室」

9/6「運動」
皆でドッチボール



9/13「和太鼓」



▲キマったね！

「道前太鼓」の皆さんに、バチの持ち方から教えていただきました。上手に叩くコツは、いい感じに力を抜くことなんだとか…。「もっとやりたい！」とみんな楽しそうでした。

秋祭りがきくらべ

日時：10月12日(日)午前8時30分～

場所：壬生川小学校 運動場 ※雨天中止

壬生川校区内における各団体の太鼓台、だんじりのかきくらべを行います。多数の方のご来場をお待ちしております。

第28回 北星会館ふれあいまつり

日時：10月18日(土)12時50分～ ※雨天決行

場所：北星会館内及び会館前駐車場

主催：北星会館協力委員会

内容：◎人権・同和教育講演会 (13時～14時)

演題：「人間の尊厳に向き合う」

講師：氷見交友会館 館長 曾我部 研二 氏

◎小中学生の人権作品展 (11時～15時30分)

※10月24日(金)まで会館に展示

◎教室生等の作品展 (11時～15時30分)

◎ゲーム・お茶席・体験コーナー (14時～15時) ※数に限りがあります。

◎芸能発表 (14時30分～)

ご家族、ご近所、お誘い合わせ
ぜひお越しください！

「壬生川小学校 PTA 資源回収」にご協力願います！

日時：10月3日(金) 8:45～12:00

悪天候の場合は実施しません。

お手数ですが、2日(木)に壬生川小学校まで
お問合せください。

場所：壬生川小学校 運動場

運動場門からお入りいただき、設置のボックスの
中に、仕分け、お入れください。

出入りする車には、十分お気をつけください。

回収物：新聞・雑誌・ダンボール・アルミ缶

・新聞、雑誌などを縛っていたヒモはお持ち帰り
いただくと助かります。

・アルミ缶は、中を洗い、乾かしてください。
つぶれていても構いません。

スチール缶は、絶対に混ぜないでください。

・ジーンズ等の古着は、集めません。

お 願 い

共同募金・歳末たすけあい運動

令和7年10月1日(水)から全国一斉に
「赤い羽根共同募金運動」が始まります。
赤い羽根共同募金は、地域の子どもたち
高齢者、障がい者などを支援するさまざま
な福祉活動に役立てられます。

災害時には、「災害ボランティアセンター」
の設置や運営など、被災地支援にも役立ち
ます。

一世帯あたり500円

(歳末たすけあい運動含む)

本年も皆様の温かいご理解とご支援を
賜わりすようお願い申し上げます。

西条市共同募金委員会壬生川分会長
井上 康

～毎月10日は人権を考える日～

戦後80年と「アンパンマン」

人権侵害の最たるものは、「戦争」「差別」である。(松本治一郎の遺訓)「戦争」は、人々のさまざまな権利と人権を奪うものである。したがって、「戦争は差別」である。

- 1 戦争(差別)をすることは、
 - ・相手の様々な権利と人権を奪う。
 - ・「生きる」ことの権利を奪う。
- 2 戦争(差別)をする者は、戦争(差別)をすることを正当化しようとする。

爆弾が落ちれば罪のない子どもも死んでしまう。やっぱり戦争というのは絶対やっちゃいけない。どんな理由があっても。戦争というのは、いつもいろいろ理屈をつけるわけです。「向こうが非常に悪いから正義のためにやるんだ」って言うけど、正義のための戦争なんてものはないんですよ。(NHKアーカイブス・アナウンサー百年百話「やなせたかしさん～アンパンマンに込めた想い」)

2025年(令和7年)度前期に放送のNHK「連続テレビ小説」第112作で放送されている「あんぱん」。絵本「アンパンマン」を生み出した高知県出身の「やなせたかし」さんとその妻「小松暢」の生涯を描いたものである。やなせたかしさんは、戦前から戦後にかけて生き抜いた人である。また、戦争体験者でもあり、最愛の弟をこの戦争で亡くされている。やなせたかしさんは、NHKの「100年インタビュー」という番組の中で、アンパンマンに込めた想いを語っていた。「正義のための戦争」なんてないこと、正義なんて逆転するということを力説されている。従軍したとき、「中国の民衆を救わなくてははいけない」と言われた。しかし、戦争が終わってみると、「自分たちは悪くて、侵略した」ことになっていた。

今、ウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナが戦争をしている。これらの戦争をみても、どちらにも言い分がある。真実は一つのはずであるが、戦争を正当化しようとしている面もみられる。差別も同様で、差別している者は、「差別することは、しかたないことで正しい」と主張する。それは、すべて「偏見」に基づくものであることは明白でなのである。作家の梯(かけはし)久美子さんは、「やなせたかしの生涯」(文春文庫)という本の中で、やなせたかしさんについて次のように書いている。

- 絵本「あんぱんまん」の中でいちばん描きたかったのは、おなかをすかせた人に食べさせて顔がなくなってしまったアンパンマンが、エネルギーを失って失速するところだった。そこには「正義を行い、人を助けようとしたら、自分も傷つくことを覚悟しなければならない」という考えがある。
- 自分の食べものをあげてしまったら、自分が飢えるかもしれない。権力に対して声をあげれば、自分の立場が不利になるかもしれない。子どもなら、いじめられている友だちをかばったら、自分がいじめの標的にされるかもしれない。それでも、信念をつらぬきたいと思ったとき、勇気がわいてくる。

と、やなせたかしさんは考えていたという。そこで、アンパンマンを、あえて「弱いヒーロー」にして、弱いものであっても勇気を出したとき、ほんとうのヒーローになれるという考えである。アンパンマンは顔がぬれたり汚れたりするとすぐパワーがなくなる。もう一度人を助けられるようになるには、新しい顔を作ってもらわなければならない。そのためにはジャムおじさんという「仲間」がいたのである。しかも、悪者のバイキンマンに対しては、悪者という「偏見」や「決めつけ」を一切しない。しかし、バイキンマンの悪い行いに対しては毅然とした態度をとるのである。

これらが、戦争を体験したやなせたかしさんの絵本「アンパンマン」に込めた想いと「正義」のとらえ方であったようだ。学校教育の人権・同和教育の中の「道徳」において、「正義」の題材が多く使われている。「正義」とは、誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること(道徳学習指導要領)とある。しかし、教師がこの「正義」をどう指導することが望ましいのだろうか。小・中学校で、「正義」を題材とした道徳の人権・同和教育の授業を参観することがあるが、子どもたちはどう考えているのだろうか。

出典：NHK アーカイブス・アナウンサー百年百話「やなせたかしさん～アンパンマンに込めた想い」
梯(かけはし)久美子 著「やなせたかしの生涯」(文春文庫)

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

ひうち句会

(順不同)

道すべてローマに通ず天の川
一斉に鳩大空へ原爆忌
新涼やちりと猫の首の鈴
静かなる男の祈り蟬時雨
大窓は一枚の画布秋の山

稲井 卓機
石原 宏子
岡部 和代
丸山 英子
矢野 悦子